

# 結果の概要

## 1 精神保健福祉関係

### (1) 精神障害者申請通報届出数、入院形態別患者数

平成20年度の一般・警察官等からの申請・通報等「申請通報届出数」は16,113件で、前年度に比べ737件（4.8%）増加している。また、申請通報届出数のうち「診察を受けた者数」は8,024人で、前年度に比べ591人（8.0%）増加している。（表1）

平成20年度末現在の「措置入院患者数」は1,713人で、前年度に比べ61人（3.4%）減少している（表1、図1）。

平成20年度の「医療保護入院届出数」は184,345件で、前年度に比べ8,721件（5.0%）増加している（表1、図2）。

表1 精神障害者申請通報届出数、入院形態別患者数の年次推移

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	対前年度	
	(2004)	('05)	('06)	('07)	('08)	増減数	増減率(%)
申請通報届出数(件) (各年度)	13 690	13 687	15 451	15 376	16 113	737	4.8
うち診察を受けた者数(人) (各年度)	7 213	6 985	7 332	7 433	8 024	591	8.0
措置入院患者数(人) (各年度末現在)	2 222	2 000	1 770	1 774	1 713	△ 61	△ 3.4
人口10万対	1.7	1.6	1.4	1.4	1.3	0.0	△ 3.4
医療保護入院届出数(件) (各年度)	161 587	163 370	170 700	175 624	184 345	8 721	5.0
人口10万対	126.5	127.9	133.6	137.5	144.4	6.9	5.0

図1 措置入院患者数の年次推移

各年(度)末現在

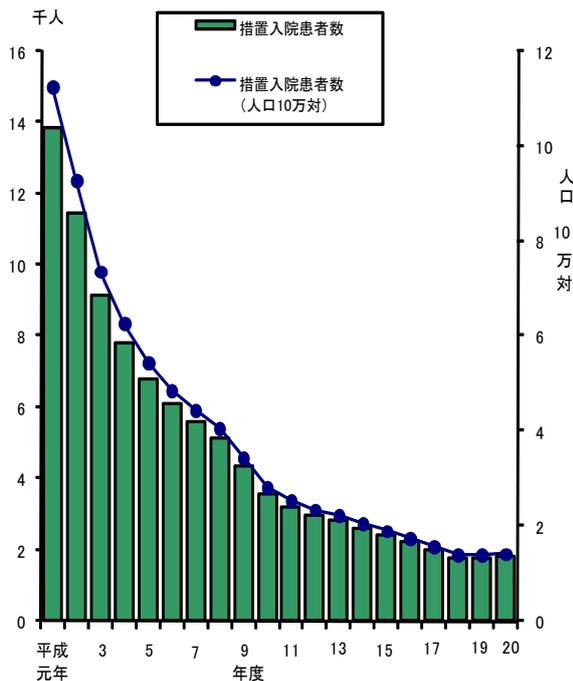
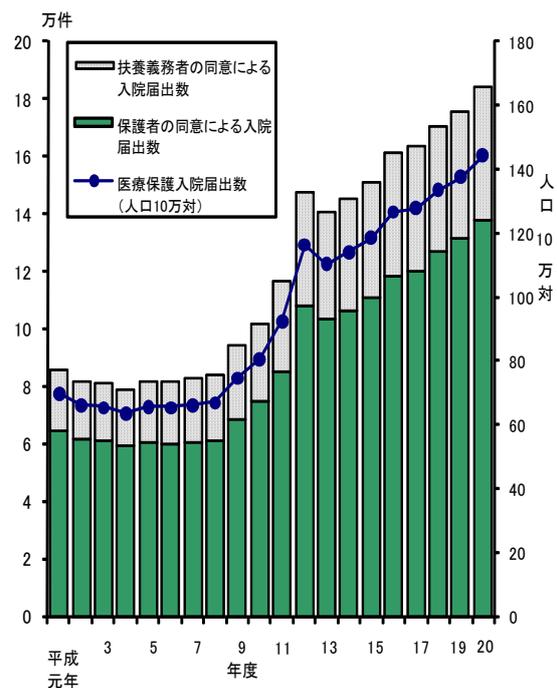


図2 医療保護入院届出数の年次推移

各年(度)



(2) 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数（有効期限切れを除く。）

平成20年度末現在の精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数（有効期限切れを除く。）は482,905人で、前年度に比べ40,177人（9.1%）増加している（表2）。

表2 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数（有効期限切れを除く。）の年次推移  
各年度末現在

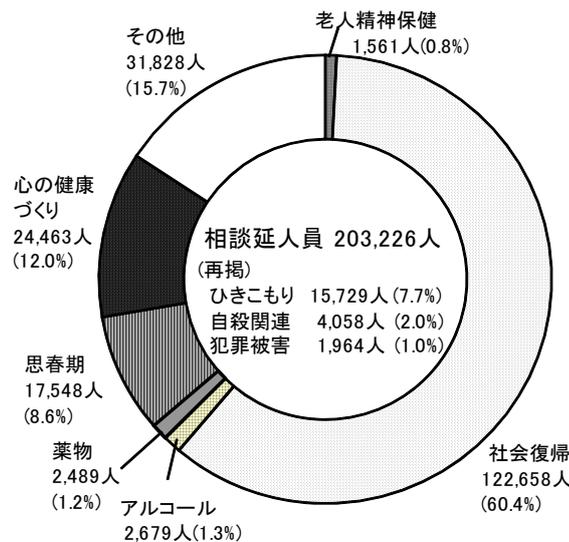
	精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数(有効期限切れを除く。)		1 級	2 級	3 級	
		人口10万対				
平成16年度 (2004)	335 064	262.4	66 485	203 521	65 058	
17年度 ('05)	382 499	299.4	71 960	233 313	77 226	
18年度 ('06)	404 883	316.9	73 810	248 102	82 971	
19年度 ('07)	442 728	346.5	78 957	270 924	92 847	
20年度 ('08)	482 905	378.2	84 074	298 042	100 789	
対前年度	増減数	40 177	31.7	5 117	27 118	7 942
	増減率(%)	9.1	9.1	6.5	10.0	8.6

(3) 精神保健福祉センターにおける相談

平成20年度の精神保健福祉センターにおける相談延人員は203,226人となっている。相談内容別にみると、「社会復帰」が122,658人（60.4%）と最も多く、次いで「心の健康づくり」24,463人（12.0%）となっている。

また、相談延人員のうち「(再掲) ひきこもり」は15,729人（7.7%）、「(再掲) 自殺関連」は4,058人（2.0%）、「(再掲) 犯罪被害」は1,964人（1.0%）となっている。（図3）

図3 精神保健福祉センターにおける相談内容別延人員  
平成20年度



注：1) ここでいう「ひきこもり」とは、仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態にある7歳から49歳までの者をいう。  
2) ここでいう「自殺関連」とは、被相談者が相談内容について、自殺の危険、予告・通知、実行中、未遂、遺族等からの相談のいずれかに該当すると考えられるものをいう。